



am
(革)

「使いたい！」
シンプルの中にある
細部に感じる
こだわり。

奥さんのミキさんが洋服作り
をしていた時につけた名前
am(エーエム)。

今では、旦那さんの厚司さんが
革と帆布を使い実家の一部屋
を工房として、小物やバッグの
製作をしている。

以前は会社に勤めていたが、昔
から好きだったモノ作りの世
界へ進む為会社を辞め、木工や
漆など何をやって行くか模索
しながら各地に足を運んだ。



毎日使うものだからこそ、
使いやすく。
小銭もお札も取り出しやすい!

そして、会社員の時から好き
だった革をやるうと決め、その
時は靴作りの学校へと進んだ。
しかし、大きく体調を崩し学校
を辞めることになってしまふ。
そして、二年以上モノ作りから
離れることになった。

体調が戻り派遣での仕事を始
めたが、やはり何かしっくりき
ていなかった。

「モノ作りをやっぱりしたいが
…どうなんだろうか…」
そんな気持ちが続く中で、ミキ
さんと出会った。



好評の折りたたみできるリュック!
軽くてこんなにも小さくなっちゃう!

(ミキさん)「二人でブラブラし
ていたんですよ。」
(厚司さん)「ブラブラって!」
なんとも言えない奥さんの言い
方に笑顔が溢れる。

モノ作りに興味がある二人は、
オープンアトリエやフェアなど
へ足を運んだ。そして、こんな形
の売り方があるんだと知り、も
う一度革の製作を始めた。
まさに、ブラブラしていたこと
から、今の生活が始まったのだ。

元々は革のみでお財布などの小
物を製作していたが、帆布(はん
ぶ)を取り入れる事で大きく製
作の幅が広がった。

メインで使う帆布の中には、タン
ニン染め帆布と言うものがあ
り、革と同じく使い込んでいく
ことで味が出てくる。



すぐに取り出しやすように
2層式になっている。

お客さんに多くの反響があった
帆布の軽さを利用した折り畳
み出来るリュック、こっそり2層
式になっているバッグなど。
「余計なものは付けず、シンプル
だけど自分らしいもの。そして
使って貰えるもの。」

そんなコンセプトでこだわり、
丁寧に作られたamの小物やバ
ッグは「使いたい!」と思わせる
魅力がある。
是非手にとって感じ取ってもら
いたい。

